

第五回春期調査計画書

関西大学文化会探検部編

趣旨

我が部が創立されて3年、この間パイオニア精神に富む諸先輩は、物質的・精神的困難を克服し、対外的にも数多の難問題を解決し、35年10月には待望の文化会に加入し、名実共に一歩立ち出来る部となった。これを考える時、我々現部員は諸先輩や我々を見守つて下さる方々の為にも益々努力して、その熱意に応えねばならない。

さて、我部5ヶ年計画の一端たる離島調査もオノ回（屋久島・種子島・トカラ列島）オ2回（磁飽諸島）オ3回（礼文・久論・岩泉島）オ4回（細倉島）を行ない多大な成果を上げた。今回（オ五回）は春期調査活動3年目を迎えるに当り特に主眼を置き、我部基本方針の考察の一資料に供したい所である。即ち離島調査として、焼尻島、元尻島（北海道苫前郡）に調査隊を派遣し、他方、洞窟調査として、岡山県新見市の洞窟を調査する。34年4月屋久島、トカラ列島の室島にて、オ一回を行ない、部員は調査についての知識を得、35年11月には河内風穴洞調査（滋賀県多賀郡）に調査隊を派遣し、その概念図作成に成功した。今回は特に新見市商工市民課観光係教育委員会の協力を得て新宮市に所在する洞窟を調査する。この調査は概念図作成、観光立地条件を研究する事を目的とし、又調査の結果により専門家（教授陣）の手をわずらわして、考古学、生物学的見地から更に大がかりな調査も計画している。

我々部員は、日本の地理的悪条件を熟慮してみる時、ロマンテックを脱した学生らしき態度で、我々の使命と信念のもとにフアイトを燃し、この調査に当らねばならぬ。

《調査地》

焼尻島（北海道苫前郡） 元尻島（北海道苫前郡）

井倉地区鏡乳洞郡（岡山県新見市）

日峰坂（ひめさか）鏡乳洞

井倉洞、羅生門、宇山洞、

《調査項目》

離島・産業・教育・風俗・習慣・伝説・

洞窟・概念図作成・観光立地条件よりの考察・考古学及び生物学的見地から考察

《調査日程》

3月19日（日）洞窟班先発隊行発

4月2日（日）洞窟班帰阪の予定

3月20日（月）離島班出発

4月5日（木）離島班帰阪の予定

3月21日（火）洞窟班本隊出発

3月21日（水） } 現地行動（但し離島班3月23日～）
4月1日（土） } 4月2日まで

構成メンバー

部長・加藤一郎（文学部助教授）京都府三訓郡大山崎村円明寺悟仙24

CL・近藤嘉寿（法3）

京都市南区黒門南梅小路下ル

☆鹿尻島天売島班

L・河本雄志（法3）

神戸市兵庫区御崎町2丁目4/8

福元孝文（法2）

姫路市御国野町国分寺698

浦上尚祐（商1）

大阪府枚岡市豊浦町834

宮沢典男（経1）

大阪市阿倍野区政南町東1の36

☆洞窟班

CL・米川利美（経3）

大阪府吹田市千里山376（河合方）

SL・松村周介（工3）

大阪府八尾市神宮寺366

近藤嘉寿（法3）

京都南区黒門通南梅小路下ル

梶本嘉幸（経2）

大阪府泉南町信達牧野1309

堀 玖磨（法2）

姫路豊富町豊富394

浜根好海（工1）

兵庫県相生市相生市相生4104

畦岡健二（工1）

大阪市阿部野区三朋町1221

加藤堯一（工1）

大阪府吹田市北町3129

橋野 猛

毎日新聞社新見通信部記者

写真部員/名

☆連絡本部

藤田宏三 法3

大阪市城東区鴨野東4の8 TEL (98) 6639

《費用》

☆焼尻・天売島班

交通費	18,000
宿泊費	23,000
食糧費	9,000
写真費	3,500
光熱費	1,700
医療費	1,500
雑費	1,300
予備費	2,000
計	60,000

両班総計 135,500

(概略)

☆焼尻島

北海道の西海岸羽幌から西方12哩の日本海上に浮かび、西の天売島と共に双子島をなす。形は二等辺三角形で、頂点を西側に向けている。面積は約5km²で西端の一部を除いては、海蝕面が認められ、大まか三段に分れている。島の基盤をなすものは安山岩であるが、周囲はいずれも峻崖に囲まれ特に西側の海蝕崖は著しく、海にも、顕藻や暗礁が散在している。全島オシロイの美林に覆われ、北東部に雲雀ヶ丘公園がある。日本人が初めて住みつけたのは1746年であった。1952年現在人口は2728人である。

☆天売島

北海道西海岸にあつて、本島から13哩の距離に浮かぶ小島で武蔵水道を開けて焼尻島に対する。面積約5km²余で、集落は大部分東海岸に存在する。周囲は断崖をなし、特に西南の海蝕崖は100米に達する。天狗岩、風岩、を始め岩礁が多く点在する。オロン島の接尾地である。すぐ沖を対馬海流が流れ附近一帯は種々の漁獲に富む。船は対岸の苫前から焼尻島釜田で定期便が復する。人口2312人(1953年現在)

(両山景新見市鑑乳洞)

昨日来、我々のグループは洞窟調査に情熱を持ち続けている。そして、より高度な技術と知識とを習得すべく、その対象たるべき洞窟を物色してきた。この辺りで一歩前進を試みより一層高度な技術と知識とが要求されると考えられる新見

☆洞窟班

交通費	10,000
食糧費	23,000
光熱費	5,000
写真費	7,000
装備費	17,000
医療費	1,500
雑費	2,000
予備費	5,000
計	75,500

鐘乳洞群をその対象として求めた。

新見台地は、岡山県の西北、鳥取県境にある。此の台地は新見市を中心に、そのほとんどがカルスト地帯である。先史時代から縄文、弥生の文化を育てた高梁川も此處から流れ出てあり、この川の流域約100kmに鐘乳洞散在する。武奇洞、鬼女洞、羅生門等々その数は百余もあるといわれている。

今回の調査では未調査の判明に於ては、先づその概念図の作成に務め、又開発されつつある洞窟でも、未調査の地域があれば、これらの地域をも、より正確なデータへの作成に務めたい。併せてその観光的價値の見地よりその考察を行ない更に考古学、植物学的見地より、それぞれ専門分野の研への足がかりとしたい。

参加者は、その技術、知識等に施すの面に於いて、以前より更に一段の飛躍を期し、又地元の人々の要望に十分に答えられる様、活躍を期待する。

新しい包装は
高岡のカラー
シートで!!

高岡段ボール工業K.K.

住所 大阪市生野区美西足代町 463

電話 (74) 5963~5